

高台まちづくり基本方針策定について

1. 背景、大田区の現状

国・東京都では、近年の気候変動により水害が激化していること等を踏まえ、防災まちづくりを強力に推進していくため、令和2年1月に「災害に強い「首都」の形成に向けた連絡会議」を設置。

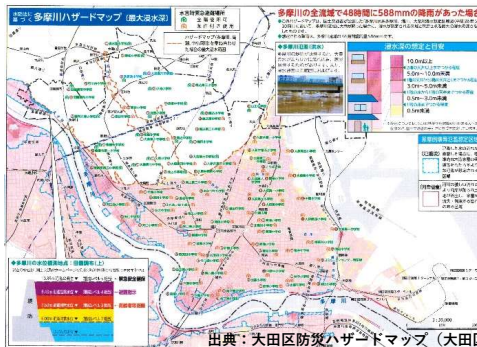
連絡会議を4回開催し、同年12月に「災害に強い「首都」の形成ビジョン」をとりまとめた。

翌年3月高台まちづくりの推進に向け、ビジョンで取りまとめた方策の具体化を図るため、地元区を含めた「高台まちづくり推進方策検討ワーキンググループ」を設置し、東京東部地域に広がるゼロメートル地帯等の「高台まちづくり」を推進。

東京都は、令和4年12月「TOKYO強靱化プロジェクト～100年先も安心」を目指して～」を策定。強靱化されている姿の一つとして「激甚化する風水害から都民を守る」主なイメージとして「高台まちづくりの加速」を掲げ、荒川、江戸川に並び多摩川も位置付けられた。

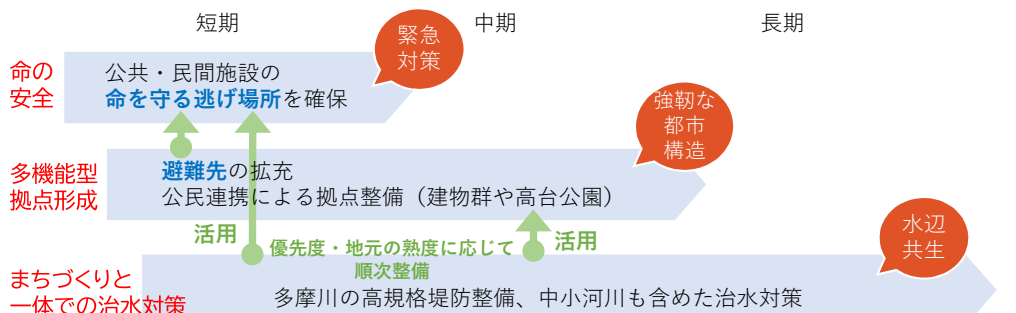
令和4年3月に改訂した「大田区都市計画マスタープラン」では、都市づくりのテーマに安全・安心な生活の実現のため、強靱で回復しやすい減災都市を目指した都市づくりを進め、緊急かつ長期的視点から、強靱な都市構造や市街地の形成、治水対策等による減災都市づくりの必要性を掲げている。

多摩川浸水想定区域(多摩川の全流域で48時間に588mmの降雨があった場合)



低地部に甚大な被害が想定される。

2. 高台まちづくりとは



建築物等(建物群)による高台まちづくり

〔平常時〕賑わいのある駅前空間
〔浸水時〕避難スペース等を有する建築物とベダストリアンデッキ等をつないだ建物群により命の安全・最低限の避難生活水準を確保

高台公園を中心とした高台まちづくり

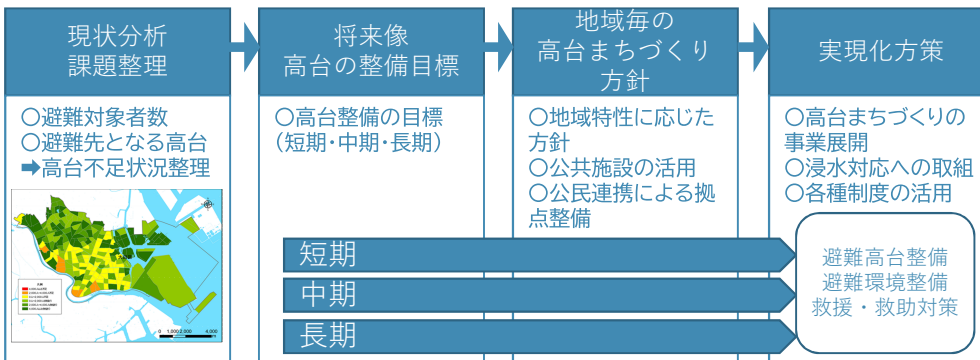
〔平常時〕河川沿いの高台公園
〔浸水時〕緊急な避難場所や救出救助等の活動拠点として機能。道路や建築物等を通じて浸水区域外への移動も可能

高規格堤防の上面を活用した高台まちづくり

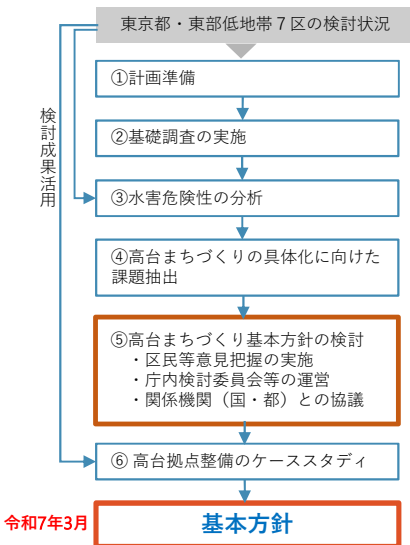
〔平常時〕良好な都市空間・住環境を形成
〔浸水時〕緊急な避難場所や救出救助等の活動拠点として機能。浸水しない連続盛土等を通じて浸水区域外への移動も可能

出典：高台まちづくりのイメージ(国土交通省)

3. 高台まちづくり基本方針の基本構成(案)



4. スケジュール(案)



5. 検討体制

